

政策2 魅力を活かしたインバウンドの推進

政策	施策	実施事業	R6事業内容	事業費（千円）
2-2ターゲットに届く効果的な情報発信	(2) 他市町村と連携した情報発信	②長野市のハブ機能を活かし、集客力のある観光資源を有する県内自治体と連携した情報発信	インバウンド誘客促進事業 本市と松本市及び白馬村との「インバウンドを柱とする長期滞在型観光振興に係る連携協定」に基づき、冬季、外国人観光客が急増する白馬村から、飲食を中心に本市への来訪を促すプロモーションを展開し、地域経済の活性化を図るもの。 【事業内容】 1 白馬村内における長野市PRイベントを開催 ・長野市内の飲食店等と連携し、ラーメン、おやき、ワイン等の飲食物の試食販売や観光PRを12月～2月の平日4回程度、白馬村内（スノーピーク白馬、八方火祭り等）で開催する。 ・インバウンド旅行者のニーズなど、生の声をアンケートにより収集する。 2 多言語対応飲食店紹介サイトを活用したPR ・令和4年度にインバウンド受入環境整備事業として作成した多言語対応飲食店ガイドブック「食旅NAGANO」のWebサイトに、長野市の特集ページを新たに追加し、本市の魅力をPRするツールとして活用する。 ・白馬村内宿泊施設等に当該サイトへ誘導するチラシや卓上POP等を配布し、インバウンドに向け長野市へ食事に出かけるプランを周知する。 3 長野駅から白馬へ向かうインバウンド向けPR ・長野駅で白馬行の特急バスを待つインバウンドに対し、滞在のスタートから長野市を印象付けるPRを展開する。 ・バス車内広告を活用したPRを実施する。（コンベンションビューロー対応） 【事業の特色】 事業の背景に、近年、冬季白馬村では、インバウンド増加に伴い飲食に関するオーバーツーリズムが深刻化しているため、本市及び松本市との連携協定に基づき、本課題の解消に向け広域的に取り組みたいという意向がある。 白馬村は、飲食店不足による観光地としてのイメージダウンを防ぐとともに、本市はインバウンドの来訪促進により地域経済の活性化を図れるため、双方ウインウインの関係性を有する事業である。 また、本市は多種多様なラーメンを地域の特色として売り出す取り組みを始めているため、インバウンドに人気のラーメンで世界に魅力を発信したい。	5,700